

中学生による職場体験学習

山南中学校2年生3名が11月20～22日の間、水産研究所で職場体験学習「チャレンジ山南」を行った。この体験学習は、子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するためのキャリア教育の一環として行われている。

水産研究所では、10年前からほぼ毎年、数名の中学生を受け入れている。今年の生徒は、水産研究所までの険しい山道を約1時間かけて自転車で通学して来たので、その元気の良さに驚かされた。

期間中、生徒にはアユの種苗生産、ワムシの培養、サワラ、アイゴの魚体測定や耳石による年齢査定、標識魚の識別、魚病の診断のほか、サーフネットを用いた生物採集と種の同定などを体験してもらった。

生徒たちは興味津々で、顕微鏡をみながらワムシの計数や耳石の観察をしたり、また、採集されたプランクトン及び稚魚の特徴から検索図鑑による種の同定をするなど、メモを煩雑に取りながら質問を重ね、大変熱心に学習していた。

この体験学習を通じ、水産の試験研究に対する理解を深め、興味を持ってもらうとともに、将来の職業選択の一助となれば幸いである。

(資源増殖室：佐藤)



写真1 アユ種苗生産における稚魚の観察



写真2 サワラの耳石を用いた標識魚の識別



写真3 サーフネットで得られた稚魚の採集